

## 部活動における新型コロナウイルス感染症予防計画

学校名	課程／学部	校長名
東京都立江東特別支援学校	高等部	小原 由嗣

### 1 学校の基本方針

- 感染症対策を講じ、生徒の安全を最優先にした上で、校長の責任の下、部活動を実施する。ただし、身体接触等を伴う練習及び練習試合等については控える。室内の活動については、必ず常時換気を行い、密集した状態とならないよう工夫するとともに、短時間で活動する。
- 下校時、公共交通機関の混雑を避けるよう、下校時間を設定する。
- 部活動の日時や実施内容をあらかじめ生徒・保護者に周知し、理解を得た上で実施する。
- 実施日は生徒の健康状態を把握するとともに、発熱や体調不良等がないことを確認する。

### 2 活動場所における感染症対策

- マスクの正しい着用や外した際の管理が適切に行われるようにする。
- 活動場所の換気は、ドア・窓を2方向に常時開放する。また、サーキュレーターやCO2測定器を配置し、換気を徹底する。
- 屋外での活動は、激しい運動をする際にはマスクを外すよう指導する。その際は生徒間の距離を2m以上取り、会話は控える。

### 3 活動前後の感染症対策

- 部活動を行う前には、顧問等による健康観察はもとより、生徒に自らの体調管理を確実に実施するよう指導する。（少しでも具合の悪い生徒は登校させない）
  - 部活動の前後における手洗いを必ず行う。手洗いができない場合は、アルコールによる手指消毒を行う。部活動終了後は速やかに帰宅する。
  - 用具等は使用前後に消毒するとともに、アルコールによる手指消毒を行う。
  - 更衣室において、換気が難しい場合には、一度に使用する人数を制限する。部活動実施前後の更衣時には、必ずマスクを着用し、密集を避けるとともに、会話は控える。
- サーキュレーターやCO2測定器を配置し、換気を徹底する。

### 4 生徒自らが行動変容を考えるなどの指導の工夫

- 感染症対策に関する掲示物を活用し、注意喚起する。
- 部長やリーダーが、部員に働き掛け、注意喚起ができるように、指導を行う。